

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2、3面 解放45年のベトナム
- 4、5面 韓国民主化運動の歩み(下)
- 6、7面 紙上討論 3
- 8面 わたしとAALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2020年8月1日 No.721

イスラエルは入植地の併合をやめよ

(左) 抗議するパレスチナ人
(右) 国連大学前での抗議行動(7月1日)



中国の「香港国家安全維持法」の決定にあたり、一国二制度原則の遵守を求めるとともに、自由と民主主義を求める香港市民に連帯します

2020年7月13日 日本AALA連帯委員会

中国の全国人民代表大会(全人代)で、香港の「国家安全維持法」(以下、維持法)が採択され、2020年6月30日に施行されました。

維持法は「一国二制度の高度な自治方針を堅持する」(第一条)としていますが、同時に、「国家の分断、国家権力の転覆、組織的テロ活動、外国勢力と結託して国家の安全を脅かすことを取り締まり、処分する」としています。このため、中国が1997年に「一国二制度」を今後50年間維持すると国際社会に公約した原則が形骸化され、言論の自由を含む人権の抑圧が強まるのではないかと懸念が香港市民の間で起こっています。

中国政府はこの新法の必要性を、昨年の「逃亡犯条例」に抗議する運動の過激化と、独立運動への転化および外国勢力の介入のためだとしていますが、そのことをもってこの法律を人権抑圧の手段として正当化することはできません。維持法は香港立法会(議会)の審議を経ておらず、新設される「香港行政政府国家安全維持委員会」は香港市民を監視する機関となるおそれがあります。また、なにより「香港特別行政区基本法」(1997年)で保障された、言論・報道・出版・集会・結社・デモなどの自由が形骸化されることを世界の世論は強く懸念しています。

中国は、国連人権理事会で53か国が維持法へ

の支持を表明したとしていますが、同理事会のうち欧州、オーストラリア、カナダ、日本など27か国と同理事会の50名の特別報告者は同法に懸念を示し、再検討するよう求めています。

私たちは世界にあるすべての暴力と人権侵害に反対し、自由と民主主義を擁護する立場から、その方向で闘うすべての香港市民に連帯を表明し、中国と香港当局に対し、維持法の施行をもって自由と人権の侵害が生じないように強く求めます。

同時に、香港問題への外部からのあらゆる干渉に反対します。外部からの干渉は現実には事態を複雑化し、国際的な緊張を高めて解決を困難にし、結局は自由と民主主義、人権の保障を求める闘いの障害となるからです。

いま世界は、新型コロナウイルス感染症の拡大阻止に向け各国の協力と協調が求められています。

香港の主権がイギリスから中国に返還されて23年。いま求められるのは、一国二制度の原則に立ち返りどのように守り、発展させていくのかです。それは香港と中国の人々が暴力を排し、話し合いと民主的な手続きで決めていくものであり、私たちはその対話の促進と民主主義の発展を強く求めるものです。

解放45周年
ベトナムは
いま④

ベトナムはなぜ勝利したか？

「大海を浚うことはできない」

ジャーナリスト 鈴木勝比古

数年前、作家のグエン・ゴックさんに「なぜ小国ベトナムが超大国米国に勝てたか」を聞いてみた。グエン・ゴックさんは抗仏戦争、抗米戦争を激戦地の南部第5軍区(中部南沿岸地域や中部高原)の戦場で戦い、米軍部隊との戦闘を直接指揮した体験もある人民軍大佐だ。グエン・ゴックさんは1975年3月11日の中部高原の要衝バンメトートの解放を例に引いて次のように答えた。

少数民族の同胞は通報せず

「サイゴン軍の中部高原の拠点には、北から南へコンツム、プレイク、バンメトートと並んでいたが、北方から進軍する人民軍部隊は最南端のバンメトートに現れた。サイゴン軍はバンメトートからコンツム、プレイクに増援部隊を派遣していたが、戦車・重火器を装備した人民軍大部隊が原生林を一路南下し、手薄になっていたバンメトートを一挙に陥落させた。この人民軍部隊の通過を、現地の少数民族の同胞はだれ一人サイゴン軍に通報しなかった」と語った。

バンメトート陥落後、サイゴン軍は武器を捨てて軍服を脱ぎ捨てて中部高原、中部海岸から敗走し、4月30日のサイゴン解放につながった。米国の軍事援助で近代的に装備した100万を超えるサイゴン軍は、民衆に見放され敗北した。

「戦略村」計画の破たん

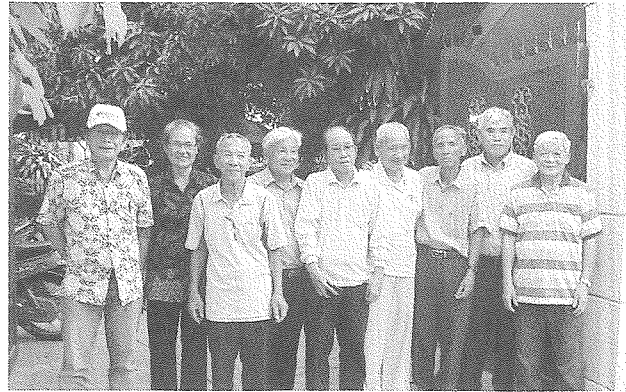
ベトナム戦争の初期、米・サイゴン政権は、「解放ゲリラと農民を切り離す」ために「戦略村」建設計画を進めた。農村をゲリラの

根拠地にさせないため、鉄条網で囲んだ「戦略村」に農民たちを閉じ込めた。米軍顧問は、ベトナムの農民たちにとって先祖伝来の村落がどれほど大切な生活と心のよりどころであるか理解しなかった。

戦略村計画が失敗に終わると、米軍が直接戦闘に参加するようになり、最高時50万を超えた。B52戦略爆撃機によるじゅうたん爆撃を農村やホーチミン・ルート沿いの山岳地帯に加えた。グエン・ゴックさんは、「キッシンジャーは当時、『魚(解放ゲリラ)を捉えるために水(民衆)を浚える』という考えに固執していた」と言う。しかし、池の水は浚れても、当時でも人口1600万人を超えた南ベトナムという「大海の水を浚い尽くす」ことは不可能であった。農村破壊の平定作戦は、多数の農民を殺傷し、村を破壊することで、彼らの米・サイゴン軍への憎しみを増大させた。

情報戦でも解放側が優位に

米軍が「ベトコン司令部」と呼んだ解放戦争司令部、「南部中央局」はタイニン省カンボジア国境のジャングルにあった。米軍がまずB52で爆撃し、そのあと地上部隊が侵攻して壊滅を図ったが、南部中央局はその都度移動し、米軍の爆撃、奇襲は空振りに終わった。米軍の作戦計画が事前に解放側に流れていたからだ。米軍通訳



南部中央局の防衛に参加した旧戦士たちと(左が筆者) = 2014年撮影

やサイゴン軍パイロットにまで解放勢力あるいはそのシンパ(同調者)が浸透していたベトナム戦争では、解放勢力が情報戦でも優位に立っていた。

当時「南部中央局」に参加した旧戦士たちの集まりを5年ほど前に取材した。「危険で、苛酷な戦場に飛び込んだのはなぜか?」と聞くと、「村が破壊され、村人が殺されるのが許せなかったからだ」と単純明快な答えであった。

強く、やさしく、誇り高く

穀倉メコンデルタの農業を支えた女性たちは解放闘争でも活躍した。メコン川流域は見渡す限りの大平原で、運河が縦横に走り、マングローブの湿原以外に身を隠す場所はないが、農民たちは自分の家や地下壕にゲリラをかくまった。のちにベトナム労働党(現ベトナム共産党)書記長となってサイゴン解放まで全期間を指導したレ・ズアンはカマウ岬一帯の「ウーミンの森」を農家にかくまわれながら転々と移動した。

ほぼ同時期の1957年、メコンデルタの中心都市カントー近くの



ムオイベさんと養女 (2005年撮影)

豊かな農家の9番目の末娘ムオイベは兄、姉たちに続いて17歳で解放運動に参加した。母親は末娘の安否が気がかりで眠れなかった。その代り解放後、ムオイベさんは89年に母親が91歳で亡くなるまで「14年間、親孝行した」という。

彼女は根拠地からカントー市内に潜りこんで、市内の女性たちに働きかけた。サイゴン解放1日前の4月29日には市内の秘密党员宅の地下壕で市民に決起を呼びかけるビラを大量に印刷し、女性たちには解放旗を縫ってもらった。4月30日、サイゴン解放の報が届くと市内の各通りに一斉に解放旗が立った。

サイゴン軍第4軍区(メコンデルター帯)司令官グエン・コア・ナム中將は最後の拠点カントーを死守しようとしたが、相次ぐ側近の逃亡と司令部に押し寄せる大群衆に絶望してピストル自殺し、カントー市は4月30日に解放された。75年6月、私が外国人記者団とともにカントーを訪問した時、アンギエップ区人民委員長ムオイベさんがカントー無血解放のたたかいを語った。彼女は当時35歳の若さだった。30年後の2005年3月、私はカントーを訪問し、引退して旧戦士会で活動していたムオイベさんに再会した。独身を通じた彼女は、両親を解放戦争で亡くした子どもたちを引き取って養っていた。「親たちのいない寂しさに負けない、元気な子供に育てたい」と語った。

ダン・ティ・ホンニャットさ



元政治囚
ホンニャットさん
(2016年撮影)

ん(1936-2016)もミト省出身のメコン女性だ。祖父母の代から3代にわたる革命家の家系で、祖父はホー・チ・ミンの父を仏官憲の追手から救い、ファン・ボイ・チャウが「東遊運動」に担いだフエ王朝の皇子クオン・デの日本渡航費用を都合するため田畑を売り払ったと言う。3代ともに投獄された経験を持つ。解放闘争に参加していた叔母の遺体が運河で発見された時には、彼女と従姉の2人だけで叔母の遺体を引き取って家まで運んだ。2人ともまだ10代であった。

ホンニャットさんは歌うことが好きで、コンダオ島のトラの檻に入れられても、歌うことをやめなかった。楽譜を読めた彼女は、日本のツアーの一行との交流で聞いた日本の反核の歌『青い空は』が気に入り、その後、ベトナム語にして、旧獄仲間と一緒に歌って聞かせてくれた。

彼女は鉄の三角地帯クチで活動した時期に枯葉剤を浴びた。解放後に2番目の子どもを流産し、その遺体をトゥズー病院に献体した。ベトナムの枯葉剤被害者の米企業告訴の原告団にも加わった。彼女は熱心に障害児たちを世話し、日本からのツアー客との交流の際には、障害児たちがつくった手芸品をみやげとして1人1人に配り、残した夕食のごちそうを子どもたちに持ち帰っていた。

あらゆる拷問を体験したホンニャットさんに「どうして耐えられたのか?」を聞いた。「屈服したら、釈放されても、顔を上げて



ディエンビエンフーに食料を運ぶ農民・市民。1台の自転車で200キロを運んだ(ZING・VNホームページから)



清水寺を訪問し、大西良慶さんの孫の僧侶・皓久さん(右)と話し合うグエン・ゴックさん(中央) =2018年11月撮影

歩けなくなるからだ」と答えた。

草の根民主主義の伝統

グエン・ゴックさんはベトナムの歴史を語った「ベトナムには『王の掟も村の垣根を越えられない』ということわざがある。東南アジア的な村落共同体の『草の根の民主主義』だ。その力が発揮されたのは、蒙古襲来の際だ。当時の王朝の指導者は各村の長老たちを集めて、意見を聞き、全民族が一丸となって蒙古の襲来を三度打ち破った。抗米戦争にもこの民族一丸となってたたかう伝統が発揮された。正規軍は最大でも200万人だが、村を基礎にした民兵隊はその10倍を組織できた」。

抗仏戦争に決着をつけたディエンビエンフーの戦いでは、農民・市民が数百^キを越えて食料、武器、弾薬を運んで人民軍を助けた。抗米戦争ではその何倍もの民衆が米・サイゴン政権に反対し、解放勢力を助けたのだ。もちろん今日の平和的な発展を進めるベトナムでは、戦争によらない進歩・発展を促す、新たな形の草の根の民主主義の発揮が求められている。

韓国民主化運動の歩み(下)

—「光州」から今次(2020年4月)総選挙まで

村山 俊夫 (著述業・ソウル市在住)

民主主義を選択するということ

2000年代に入ってから、市民が大規模な運動を展開するようになります。それには金大中政府から、かつて人権弁護士だった盧武鉉大統領のもとに政権が移ってから、「参与政府」と呼ばれたことに現れているように、市民の政治参与が制度的にも雰囲気的にもそれ以前に比べ拡大していったことが背景にあったと思われます。象徴的な運動が2003年から2004年にかけて起きた「核廃棄物処理場建設反対運動」でした。当時、朝鮮半島の西海岸にある全羅北道・扶安郡の首長が、住民の同意を得る前に政府に建設申請を提出したところから住民の大きな反発を招いて反対運動が始まりました。「過疎地の地域振興」をめぐる意見対立でしたが、民意を充分にくみ取らない旧時代の「上からの」政治が批判、克服されていく過程でもありました。そのころ韓国には稼働中の原発が19基あり、電力生産の40%を占めるほどでしたから参与政府もこれを国策として進めようとしたことが、住民と環境団体などは何より生命の安全のため、科学的根拠と民主的合意に基づく政策の見直しを求めたのです。住民たちは1年以上の間、毎日のようにロウソクを手にして集会を続け、ハンストや高速道路占拠、漁民たちの海上デモ、小中高生たちの登校拒否など様々な闘争方法を駆使しました。祝祭的な雰囲気や家族ぐるみの参加など、2016年のキャンドル革命の原型はこの運動

の随所に見られました。その中から生まれた「扶安独立新聞」が伝えたところによれば、住民8人あたり1名が配置されたという戦闘警察(機動隊)による暴力的弾圧が日常的に行われ、600名を超す負傷者、45名の逮捕者を出しながらも抵抗はやむことがありませんでした。韓国で最後だと言われる火炎瓶が投げられたのもこの時だったと言われていました。2004年に実施された住民投票の結果は、92%が反対の意思を表明し、同年末には誘致の白紙化が決定されて、「住民民主主義」が勝利を勝ち取りました。しかしその過程で多くの犠牲が払われたことは民主主義の前進が決してたやすいものではないことに改めて気づかせてくれます。

2004年3月に盧武鉉大統領の選挙法違反、経済政策破綻などを理由に、保守政党を中心にした「大統領弾劾訴追案」が可決された後、国民の弾劾反対運動が広がったことも記憶に新しいできごとです。このときの弾劾訴追は憲法裁判所で棄却が決定され、2017年の朴槿恵大統領弾劾とは逆の結果を出しました。議会制民主主義の制度が国民の意思とは無関係に政治的目的達成のために利用されることがあることは、日本での国会運営の実態を見てもわかります。たとえば首相による衆議院解散権は幾度となく政権を維持する大義名分のために悪用されてきました。韓国での大統領弾劾失敗の事例は、

国民が制度の運用を絶えず監視し、時に制動をかける必要があることを示したできごとでもありました。

政権が李明博、朴槿恵という保守政治家の手に移った2008年から2017年の時期には、韓国の市民運動が国家権力とそれに迎合する言論機関の集中砲火を浴びて危機を迎えることとなります。特に2008年のBSE(牛海綿状脳症)に関連した米産牛肉輸入反対運動は、当初若い女性や家族連れの参加が目立ち、「ロウソク文化祭」を掲げて平和な雰囲気うちに進行していました。インターネットやモバイルを通じて運動が拡散したのもこのころからです。ところが政府が強硬な運動弾圧へと踏みきってから様相が一変しました。李明博大統領が就任間もないころで、力で押し切る自信があったのかもしれませんが。警察と参加者との激しい攻防が続くようになると、保守系の新聞は「過激な暴力示威」キャンペーンを繰り広げ、集会の会場だった光化門広場に市民が集結で

そしてキャンドル革命へ

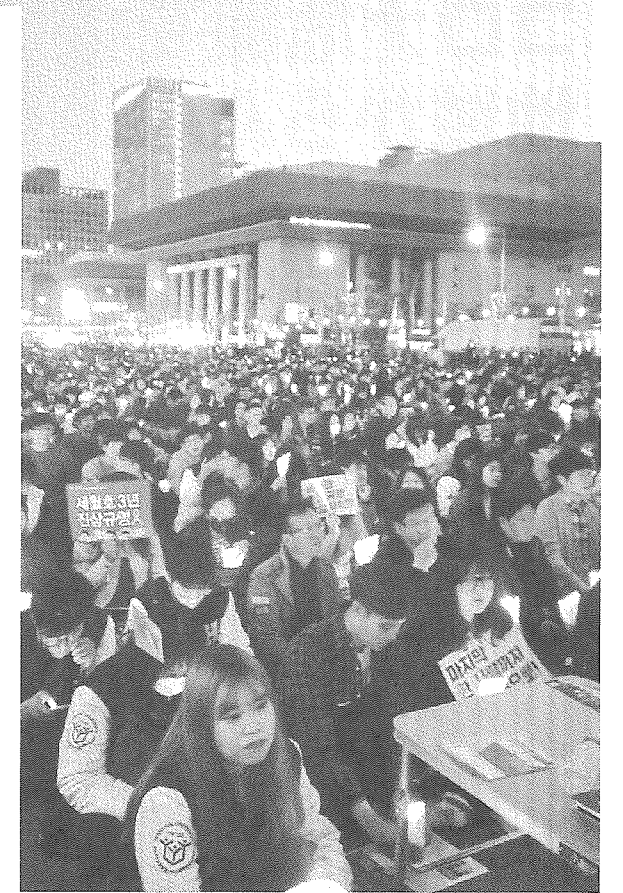
2014年4月16日に、修学旅行に向かう多数の高校生を乗せたまま沈没した「セウォル号」の痛ましい事故が起きました。これに対して遺族たちが真相究明や責任者の処罰を求めて署名運動や世論喚起に立ち上がりましたが、朴槿恵政権の批判につながることを怖れた国家情報院がこれを北朝鮮の意向に同調しているものという世論を作りだそうと、保守

きないよう世宗路の10車線道路にコンテナを二重に積み上げた「明博山城」を作るなど、恐怖感によって市民の参加を押しとどめようとした。政府のねらいは的中し、一時、市内の大通りをすべて埋め尽くしていた参加者は激減、やがて検挙の嵐が吹き荒れてその対象者は1000名を超すと言われました。

言論を動員した工作を実施したことが後に暴露されました。遺族や支援者に対するネガティブキャンペーンは今も続き、4月の選挙運動の時にも保守政党立候補者の遺族に対する侮辱的発言が社会の指弾を浴びました。

2016年から2017年まで続いたキャンドル革命は、それまでに市民が自ら作り出した成果と、苦い敗北

(右) 第22次キャンドル集会(2017年4月15日)
(左) 第21代国会議員選挙・コロナ対策で距離を置いて投票を待つ人々(2020年4月15日)



の経験を集大成することで生まれた韓国民主化運動の結晶ともいえるべきものでした。詳しい経過については拙著『韓国で起きたこと、日本で起きるかもしれないこと』(彩流社2017)に記しましたが、それは単に政権交替という結果にとどまらず、未完の民主化と言われた1987年の民主化運動によって解決できなかった課題をあらためて俎上にあげて、21世紀にふさわしい民主主義を実現しようとするものでした。初めは「大統領の不正」に憤って集まった人たちが、半年間にわたって毎週行われた集会とデモを通じて、それまで社会で孤立していた自身が社会の変革に自ら参画する主体として成長することを実感するようになったからこそ、より大きな目標に向かって進むことが可能になったのではないのでしょうか。

それから3年後、再び訪れた国政の選択の機会である「第21代国会議員総選挙(2020.4.15)」で、韓国

国民は66.2%という高い投票率で主権意識の高さを示した上で、与党・民主党を支持しました。日本では「コロナ対策で点数を稼いだ」といった皮相な報道もありましたが、現地での実感は、まだ終わっていないキャンドル革命を完遂させるための断固とした選択であったことをお伝えしたいと思います。そしてそれは初めに書いたように、光州の市民が伝えた思いを受け止めながらつなぎ続けてきた40年にわたる民主化運動の到達点でもあります。

今、香港やアメリカの事態などを見れば、互いに緊密に連動した世界の人権・平和を守る運動は、その成果を共有して新たな段階を目指していくことが求められているのではないのでしょうか。私たちが隣国のできごと注目することを呼びかけるゆえんです。

(文中、人名はすべて敬称を省略しました)

紙上討論③

コロナ危機をのりこえ 地域からAALAの活動を進めましょう

緊急事態宣言が5月末に解除され、各県AALAはオンライン会議も採り入れて活動を広げています。北海道、宮城、京都、広島の各事務局長に現状と今後の活動を語っていただきました（文中敬称略）。

野本久夫（日本AALA事務局長）
緊急事態宣言が5月末に解除されましたが、現状はいかがですか。

利元克己（広島AALA事務局長）
7月に入って徐々に活動が戻ってきていますが、公共機関が定員を絞る状況が続いています。広島の民主団体や労組の3月から6月の行事の中止や延期について「デモ・街宣」「総会・学習会」「映画・演劇」「裁判」の4つに分けての行事予定の数、中止や延期数が3月は行事53に対し中止・延期が24で45%、4月54%、5月46%、6月は中止・延期6%と大分改善されました。

野本 北海道はいかがですか。

片岡満（北海道AALA事務局長）
定例行事ですが、札幌駅北口での11定例宣伝は、5月は中止。毎月第4土曜の学習会も、4、5月は中止しました。実施は毎週火曜午後の事務局会議と月末の機関誌作業だけでした。6月に感染防止に留意しながら定例行事を再開し、中旬には夏期財政強化月間の訴えと会費請求をしました。

野本 京都はいかがですか。

辻崎忠由（京都AALA事務局長）
京都は全体的に「自粛ムード」です。2月「2020春節のつどい」（共催行事）、4月の「非同盟運動」学習会、5月の「エスニック

料理の旅」（メキシコ料理）等が中止です。2度の運営委員会（理事会に相当。月1回）で議論して、感染症拡大防止のため止む無く機関紙の発行を2ヵ月間休止しました。オンライン会議は4月の運営委員会から実施しています。なお、「四役会議」（不定期）は、4年前からオンラインで開催しています。

野本 オンライン会議の先駆けですね。宮城AALAはいかがですか。

小林立雄（宮城AALA事務局長）
COVID-19問題で、現在および世界を大局的かつ深く考える機会となりました。日本国憲法9条と国連憲章を大事にすること、それに基づいて考え、あるいは訴えていくことが大事であると感じます。4、5月は自粛でイベントはほとんどできませんでしたので、その分、パンデミック問題に目を向けてきたつもりです。

野本 4、5月はイベントなどが相当中止や延期になったのですね。会員増やしや会費の納入はいかがですか。

片岡 昨年度の会員・読者は、退会7・購読中止2に対して入会8・新読者1でした。民医連元事務職員（女性）が、今年2月に入会后すぐに事務局員になり、事務局体制が強化されました。広い北海道で個々の会員と顔を合

わせる機会を持つのはなかなか大変です。機関誌のみで会員を継続している方、夏冬の財政強化期間に必ず募金してくれる方に感謝しています。退会理由は、高齢化や経済事情等で、引き留めるのは難しいですね。理事長メールでの情報発信、機関誌に会員・読者の寄稿を積極的に募ってAALAを身近に感じてもらえる努力をしています。キューバが新型コロナの医療支援団を各国に派遣した記事を掲載した際は、会員から「感動した」「励まされた」という反応がありました。

野本 京都はいかがですか。

辻崎 今年4月以降の新入会員は3人、退会は1人です。会員増やし活動は常に運営委員会で議論し、親しみやすく、読み易い機関紙づくりや「学習会」、「エスニック料理の旅」等の継続的な取り組みを通じて、不十分ながらも会員との繋がりを重視することに努めています。また、入会のお誘い時は「リーフレット」を渡し、「非同盟運動」のこと、非同盟諸国首脳会議にオブザーバー参加出来る日本で唯一の組織であるAALAの活動に共有・共感を得て入会していただきます。それは退会者を少なくすることにも通じると思います。会費納入も大きな課題で、特に長期未納会員に対

しては会費の大切さを訴えると共に、組織的に対応したいと思います。

野本 宮城はどうでしょうか。

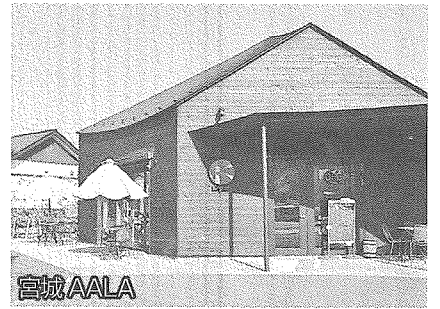
小林 東日本大震災後10年近く経ち、被災地の気仙沼での問題を現地のみなさんと意見交換するため理事会として気仙沼市在住の元理事の佐々木さんを3月17日に訪問しました(写真:俳優渡辺謙のカフェ:K-port)。平和友好団体との共同を強化することをここ数年前から意識的におこなっています。原水協、平和委員会、日中、日朝、ユーラシア協会などと話し合い、元気になり、市民にたいする取組をしたいと考えています。「国際署名」については我々の位置づけが弱いと思います。私は二世ですから「ヒバクシャ国際署名」は意識に深く入り込んでいます。

野本 広島はいかがですか。

利元 公職選挙法違反で逮捕された河井前法相夫妻の事件は全国的な大事件になりました。「疑惑をただす会」の呼びかけで561人もの市民が広島検察庁に告訴状を提出、検察が受理しました。「疑惑をただせ」「説明責任を果たせ」「金品を受領した地方議員は辞任を」を市民に訴え、多くの市民から激励を受けています。

野本 河井夫妻大規模選挙買収事件は、首相に「買収目的交付罪」の疑いがあり、解明して欲しいですね。これからの活動についてお話をください。

辻崎 6月の定期総会は感染症拡大防止のため延期し、9月開催を検討しています。「国際問題例会」は現在、2会場のみでおこなっていますが、1会場は7月より再開、もう1会場は休止中です。「英会話教室」は3月末から休止しましたが、6月再開。「吉田日本語学習・援助(他組織主催の活動ですが、AALAの役員・会員が留学生



の日本語学習を援助)」は部分的開講です。AALAの人々との連帯を目指す当会美術班と友人たちのグループ展「顕展」は、新たな出展者を迎え、今年も7月開催予定です。京都でも総選挙、次期参院選での「野党共闘」が前進することを願っています。第6次「国際署名」もコロナ禍で、例年3～6月にかけて開催されていた大きな集会等が中止となり、あまり進んでいませんが、6月下旬の集会で40筆集めました。

片岡 札幌駅での11定例宣伝は、ここ数年は3、4人でしたが、今後5、6人でおこなうので、ビラ配布枚数や市民へのアピール度が上がると期待しています。「月例AALA教室」は札幌近郊の会員しか参加できない制約はありますが、多くの方の関心に応えうる題材を専門的にならないよう留意し、新たな参加者を増やしたいと考えています。AALAの存在を知らせ、財政活動にも寄与する「矢白別平和盆おどり」が今年度は中止となりま

した。立憲野党と市民との共同を進める組織も、脱原発運動を進める連絡会も動きがほぼ止まっています。第6次「国際署名」は、個別に友誼団体を訪問して訴え、これから具体化をはかります。

利元 ヒロシマ総がかり行動が開催する憲法集会と広島県のメーデーがオンラインでの発信になりました。初めての試みでしたが結構視聴されています。幸い広島はコロナ感染症が大きく広がっていませんが、市民感情を大事にして発信すべきことは発信したいですね。写真は、6月26日今年35回目の「平和網の目行進」で日本AALAの旗をもって約250人と一緒に参加しました。

小林 県内版機関紙を「交流の場」としてなるべく多くの人に登場してもらうことと読んでハッとするような記事を工夫しながら作っていますが、なかなか大変です。苦勞するところです。

野本 コロナ禍の収束が見通せないのですが、危機をのりこえて人々が連帯し合える社会の実現を目指して活動を進めましょう。事務局もみなさんといっしょにがんばります。

イスラエルによる 入植地(ヨルダン川西岸)の併合を許すな

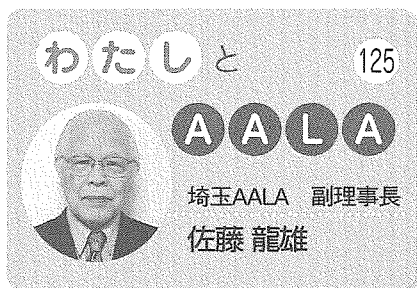
イスラエルのネタニアフ連立政権が、不法に占領しているパレスチナのヨルダン川西岸の併合に踏み切ろうとしています。

計画はヨルダンとの国境沿いにあるヨルダン溪谷と各地に点在するユダヤ人入植地(西岸の約30%)を併合しようとするもの。米国のトランプ政権が後押ししており、近く閣議決定で強行しようとしています。

入植地や占領地の併合は国際法違反。国連のグテレス事務総長は「併合が実施されれば最も

深刻な国際法違反であり、(イスラエルとパレスチナの)2国家共存の見通しを著しく害し、交渉再開の可能性を損なう」と警告。欧州連合(EU)や非同盟諸国も国際秩序を破壊する暴挙だと中止を求めています。

日本 AALA は6月30日に開かれたオンラインのパレスチナ人民支援国際会議に参加、その決議に基づいて世界各地で7月1日に開かれた国際連帯行動の一環として、東京の国連事務所前で反対行動をしました(1面写真)。



差別はしない 生涯の原点として

中学生のとき、朝鮮籍の友だちと下校時に喧嘩になり「朝鮮人!」と言ってしまいました。今アメリカをはじめ、世界で大問題になっている人種差別、民族差別と同根です。彼はのちに朝鮮に帰国しました。ひとの心を傷つけたこと、取り返しのつかないことをしたという思いが頭から離れず、その時の思い「差別は絶対すまい。人を馬鹿にするようなことはしない。」これが後に教員をめざす原点になりました。

2001年3月の退職直前、担任していた中1の学年集会では「最後の授業」を設定して、話をする機

会を与えてくれました。「なぜ人間は勉強するのか」「なぜ学校は大切か」を話し、「私の過去・現在・未来」で、「朝鮮人!」と言ってしまったこと、60年安保の時、人の命が暴力的に奪われてしまう場面に出くわしてしまった自分のことを話しました。そして、これからは自分の発する言葉の重要さ、不合理に対する自分の行動を一つ一つ自らに問う生活をしていきたい。平和を願うための仕事をしたいと AALA の国々の非同盟運動を生徒に紹介し、その運動体の「埼玉 AALA」で活動していきます。そう決意表明をしたのが「最後の授業」になりました。

1996年、教職員組合運動の先輩で埼教組委員長・埼玉 AALA 理事長の故小笠原政之助さんからすすめられ入会しました。AALA 機関紙の発行を退職直前の2001年1月号から受け持ったのが最初の仕事でした。現在も継続しています。年表、年誌、機関紙の合本など、活動の記録を残しておくことも、運動を継承するために重要な仕事で

す。2001年埼玉 AALA 連帯のつどい「私と東アフリカ・小倉寛太郎氏」、2002年埼玉 AALA 連帯のつどい「いまパレスチナで何が起きているか・土井敏邦氏」等の取り組みは、私にとって宣伝、組織活動の経験を積む機会になりました。

埼玉 AALA は、今年の総会をコロナ禍のため中止し、議案書を全会員に送り、議案への意見・要望を求めました。会員から帰ってきた文書に「これほど多岐にわたり、きめ細かな活動を行っている団体は他に知らないほどと感嘆です。今後は何とか少しでも多く参加できたらと願っています」とありました。この言葉に象徴されるように、埼玉 AALA の運営に関わって20年、埼玉 AALA がウィングをひろげ、現実の課題を解決するために活動する組織に変わってきたように思います。これからも魅力ある機関紙づくりを心がけ、今年度から始めた「会員の声」カードでの声を機関紙に反映させ、それが新規加入に繋がる動きをつくっていききたいと思います。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA
SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-11-7 第33 宮庭ビル 4階
電話: 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>
FAX: 03 (3357) 6255 E-mail: info@japan-aala.org
振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円(送料63円)